

令和7年度「土質・地質技術者生涯学習協議会」概略議事録

日時：令和8年3月19日（木） 15:30～17:00

場所：全地連会議室（対面＋WEB 会議）

出席者：

（一社）日本応用地質学会（小俣会長）

（国研）産業技術総合研究所（斎藤委員）

日本情報地質学会（坂本委員） WEB

（一社）日本地質学会（佐々木委員）

（公社）日本地下水学会（小原委員） WEB

（一社）物理探査学会（内藤委員）

（一社）全国さく井協会（安川委員）

（協）関西地盤環境研究センター（金津委員） WEB

山口大学理学部地球圏システム科学科（太田委員） WEB

フィールドの達人企画委員会（磯村委員）

（一社）全国地質調査業協会連合会（佐々木、高橋、相澤、廣田）

欠席者：

NPO 日本地質汚染審査機構（山田委員）

議事および議決内容など

1. ジオ・スクリーニングネットの運用状況について 資料①（P3）

（1）利用登録者数

（2）CPDプログラム（講習会等）の登録状況

（3）Webサイトの改修などについて

→ 上記（1）～（3）の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

現時点でwebサイトの改修およびCPD重み係数表の更新等は予定されていない。

→ 次のような意見等があった。

（小俣会長）現在公開しているCPD重み係数表に併せて資質区分を追加いただきたい。

（全地連）CPD重み係数表の更新の際に削除されてしまったものと思われる。注意事項の表の下部に再度掲載する。

2. CPD関連組織の活動状況について 資料②（P6）

（1）建設系CPD協議会における活動状況について

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

また、建設系CPD協議会において、令和8年度は「土質地質技術者生涯学習協議会」が会長職を担当し、「日本環境アセスメント協会」および「日本建築士会連合会」が副会長を担当することが決定した。

令和8年度のシンポジウム等の開催有無や開催内容については、今後幹事会（日本応用地質学会、物理探査学会、日本地質学会、全国地質調査業協会連合会）で検討することになった。

→ 次のような意見等があった。

（小俣会長）シンポジウムの開催有無については意見をいただきながら決定していきたい。

(全地連) 開催の仕方にもよるが、過去のシンポジウムでは建設系 CPD 協議会からの参加者が大半であったため、開催にあたっては集客の対象などを慎重に検討する必要がある。

(小俣会長) 一方でコロナ感染症拡大が起こる前、対面で開催された際は約 100 名程度が参加した印象であり、PR の方法次第では多くの参加者を募ることができる可能性もある。

(内藤委員) 近年の状況を鑑みて、対面と web のハイブリットは廃止とし、遠方の方の参加のしやすさや運営の簡便さを考慮した web のみでの開催も検討していきたい。

(小俣会長) シンポジウムの内容としては日本技術士会が新たに開始した IPD 事業の紹介がある。

(2) 日本技術士会における活動状況について

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

→ 次のような意見等があった。

(小俣会長) 日本技術士会が開始する IPD 事業は、次のイメージの通りである。

日本技術士会における IPD 事業とは、技術士が継続的に成長するための研修・実務・指導を組み合わせた人材育成の仕組みである。IPD と CPD の違いのイメージは次の通り。

IPD : 技術士を目指すための能力形成を目的とする

CPD : 技術士の能力の維持向上を目的とする

日本技術士会 HP : https://www.engineer.or.jp/c_topics/011/011645.html

(3) 千葉市 CPD 認定団体における活動状況について

(4) 外部問合せの対応状況について

→ 上記 (3)、(4) の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

3. 令和 7 年度収支報告および令和 8 年度会費について **資料③ (P13)**

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について承認された。

4. 協議会の次回開催について **資料④ (P14)**

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について承認された。

→ 次のような意見等があった。

(全地連) 令和 9 年 3 月を予定し、具体的な日程については 2 月に改めて日程調整のご連絡をさせていただきます。また、幹事会については 4 月または 5 月に開催を予定し、具体的な日程については改めて日程調整のご連絡をさせていただきます。

5. 自由討議 (資料なし)

→ 次のような意見等があった。

(全地連) 講習会における CPD ポイントとして認められる範囲について、開会挨拶から閉会挨拶までのうち、認められないのはお昼休憩のみである。その他の途中休憩はすべて CPD ポイントとして認められる。

以上